

するところから日帝經濟的利害の一致による共同戦線を展開せしめなければならない。

かくて労働組合総聯合への過程として、全心的組合會議の設置のために、

(一) 組合會議の必要を凡ゆる機会を捉へ、凡ゆる場所に於て宣傳し、その現場に對しては何れも団体會議によるものと受け、或は機会を見て提議しなければならぬ。

(4)

たか、この總聯合への實現の過程に於ては、かゝる統一運動にサボタージュせむ中間派組合幹部、強硬派、弱派、リターン、轉回せんとする右翼指導者との徹底的闘争を以て、その目的を達するとは不可能である。故に悉くは、統一運動の機会に於て共同戦線を有効にもらひ、その指導者下にある組合員大衆との協同闘争による、その誠意を示すと共に、彼等の指導者との正体を暴露し、下からの歴史的排撃として共同戦線参加を強硬派からしめ、而してあくまでこれを妨害する輩や幹部を徹底的に排撃し、彼等を大衆から分離せしめなければならない。かかる方法に依つて、組合大衆は其の経路による總聯合を總求し、指導者に対する反対派として形成され、眞實の堅固な總聯合運動實現の條件を作り出すのである。

第四 産業別合同に関する方針

(1)

労働組合総聯合實現の運動と相俟つて我々労働組合の任務は、益々資本の集中集積に伴つて鞏固

になりゆくトラスト、カルテル等の資本家、組織に對峙し、これと毎刻に闘争するところの、産業別合同の運動を積極的に行はなければならない。

各産業部門に渉るカルテル、トラストは、その組織が鞏固となるに従つて、闘争組織を強力をなす。と同時に、労働條件を益々劣悪化すると共に平均化し、統一せんとする。

これに對應するところの吾れは、組織たる産業別組合は、資本との闘争に於て最も徹底的に統一された行動を採り得る可能性を與へるのみならず、各労働條件の平均化は未組織大衆の組織に就き有利な條件を提供することである。

しかして、産業別組合、全心的合同の實現が速く進むに従つて労働組合總聯合の組織を鞏固するもの、その基礎を確實ならしむるのである。

わが評議會は、産業別合同運動に關して次の方針の下にこれを遂行に努力しなければならない。

(2)

産業別合同運動は労働組合總聯合を實現するために特に特力する産業における經濟的利害の一致を基として協同戦線を展開しなければならない。

かかる協同戦線を展開するために、當面より具體策として

(一) 評議會内の可能な各産業に渉つて産業別協議會を充實せしめ指導統制の機關を置き、同種